

文の構造

文とは、表現主体が、ある事柄を表現するために、一定の規則に従って言葉を組み合わせたひとまとまりです。原則的には、主語・述語・目的語と、それらを詳しく述べる修飾語によって構成されています。主語・述語・目的語が2文節以上で構成されているものを、主部・述部・対象部と言います。場合によっては目的語（対象部）がない、主語（主部）や述語（述部）が省略されていることがあります。正しい文を作るには、文の構造がしっかりしていることが必要です。

次の文を、主語（部）・述語（部）・目的語（対象部）・修飾語に分類し、文の種類を考えてください。

- ① 姉は 部屋で 本を 読んでいる。（ ）
- ② 姉は 本を 読むが 弟は テレビを 見ている。（ ）
- ③ 姉は 夏目漱石が 書いた 本を 読んでいる。（ ）
- ④ まあ、すばらしいわ。この眺め。
- ⑤ 火事だ。
- ⑥ 僕は カレーライス。君は。

* 主語は、

* 述語は、

* 目的語（補語）は、

* 修飾語は、

* 独立語は、